

## 新型コロナウイルス感染拡大防止のための利用ガイドライン【日帰でご利用の団体用】

国立中央青少年交流の家では、新型コロナウイルス感染の防止の為、『施設内での3密の回避』、『徹底した消毒』そして『職員の健康状態の聴取』などの取り組みを行います。

皆様に安心してご利用いただけるよう、職員一同最善を尽くして参りますので、どうぞご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。なお、職員は、マスクを着用して対応させていただきますのでご了承ください。

- 本ガイドラインをお読み頂き、ご理解頂いたうえでご利用ください。
- 引率者を含めた参加予定者全員及び同居する家族への事前の健康状態を聴取し、利用前に以下の諸症状のいずれか1つでも確認された方（家族含む）は、当該症状の回復が見られた場合であっても参加を控え（参加が可能な旨、医師の診断を得た場合を除く。）ていただきますようお願いいたします。また、発熱とは平熱比+1度以上を意味しますので、参加者の平熱を事前に確認いただくようお願いいたします。
- 当日、ご来所前に体調確認及び検温のうえご来所ください。

### 「強いだるさ」「咳、痰、のどの痛み」「発熱」「息苦しさ」「味覚・嗅覚障害」

- マスク、アルコール消毒液及び拭き取り作業用の布類など消毒作業に必要な用品をご用意ください。
- 体調不良が発生した場合は速やかに帰宅できるような体制を整えてください。
- 団体内で全員の健康状態を把握し共有できる体制を確実に整えてください。
- 感染防止の基本「手洗い」「ソーシャルディスタンス」「咳エチケット」の徹底のご協力をお願いします。
- 使用施設は定期的な換気を心がけてください。
- 新しい生活様式における熱中症の予防のため、次の行動を心がけましょう
  - ・こまめな水分補給を！のどが乾く前に、1日1、2Lリットルを目安に水分補給をしましょう！
  - ・屋外での活動で、人と十分な距離が取れる場合はマスクを外しましょう。
  - ・マスクを着用しているときは、負荷のかかる作業は避けましょう。
- 使用した研修施設のドアノブ、手すり、スイッチ、使用した洗面所、研修室の机、椅子等の共有部分は、接触後の手洗いを行うとともに、退室前には消毒液を用いて消毒作業を実施してください。
- 上述の体調不良の諸症状が確認された場合、新型コロナウイルス感染症であると想定し対応させていただきます。何卒ご理解ください。
- 上述の体調不良の諸症状が確認された場合は、速やかに携帯電話か内線電話にて事務室へ報告してください。

**連絡先：携帯電話 0550-89-2020 内線電話 215または216**

- 症状が確認された方はすぐに隔離し、接触のあった方は全員その場にて待機、または職員の指示する場所に移動してください。
- 症状が確認された方及び、接触した方は他人との接触がないよう、十分にご配慮ください。
- 感染拡大防止のため、症状が確認された方だけでなく、団体の皆様全員の退所をお願いする場合がありますので、ご理解の程、よろしくお願いいたします。
- 新型コロナウイルス感染症罹患（疑い含）が発生した場合には、保健所の指示に従い対応をさせていただきます。滞在中及び当面の利用予定の団体様につきましては、速やかにその情報をご連絡させていただきます。受け入れ停止となる場合もありえますのでその点を十分考慮し、計画をいただきますようお願いいたします。
- 滞在中及び帰宅後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症と診断、又は疑う症状が見られる方がいた場合には、当施設まで必ずご連絡いただきますようお願いいたします。
- 体調不良により帰宅された方がいる場合には、帰宅後の経過（診断結果等）につきましてもご連絡いただきますよう合わせてお願いします。